



平成 26 年 9 月 7 日

## 第 68 号 尾道市因島重井町自主防災訓練 ～ 防災展示・説明コーナー ～

日時：9月7日8時30分～10時  
場所：尾道市因島 重井フラワーセンター  
主催：尾道市因島重井町自主防災会  
支援：尾道市、  
日本防災士会広島県支部南東部地区

参加者：380人



因島重井町自主防災会役員と  
日本防災士会広島県支部南東部地区会員

### [避難訓練の目的]

地域防災の重要性についての地域の防災力向上を目指し、「南海トラフ巨大地震」に関して震度 6 強に対し安全に地区の避難場所へ移動、また津波警報発令後は指定の避難所（TPO 11.8m のフラワーセンター）へ行動する。2 段階避難訓練の実施であった。  
特に避難実施に際して、町民による情報伝達、安否確認、避難誘導を重視した。水消火器の使用、AED 使用、防災グッズ、給水・給食、車椅子、簡易担架作り等災害時に役立つ訓練を行った。

上記訓練の後、広島県南東部地区防災士が「防災展示スペース」を企画担当し展示物の説明を行った。今回は 8 月 20 日に「広島市豪雨土砂災害」が発生したこともあり、豪雨土砂災害の被災地の写真や記録的な雨量情報等を展示し、状況の理解を深め、今後への備えに役立つ内容の写真展示とした。参加の皆さんは熱心に興味も高く展示コーナーを見学、学習された。

### 「防災展示説明コーナーの状況」：

1. 災害写真及びデータ展示
  - (1) 地震津波の基礎知識（地震列島日本、南海トラフ巨大地震）
  - (2) 写真で知る津波の怖さ（東日本大震災被害）
  - (3) 広島市豪雨土砂災害（安佐南区の土砂災害、8月20日降雨記録）

いづれも参加者の関心度は高く、特に南海トラフ関連の広島県への被害情報及び広島市豪雨土砂災害資料への注目度は高かった。

## 2. 非常持出品と防災用具

役立つ防災用具や非常持出品を揃え、災害時に有効で便利な要点を説明した。参加者の興味、関心は高かった。

## 3. 非常食品・飲料の展示

被災時の食料、飲料は重要であり、品物の改善、新製品も多く、更新も必要なので、使用期限の度に取り換える事が必要であり、女性参加者の関心を引いた。

## 4. 土砂災害模型と液状化模型実験

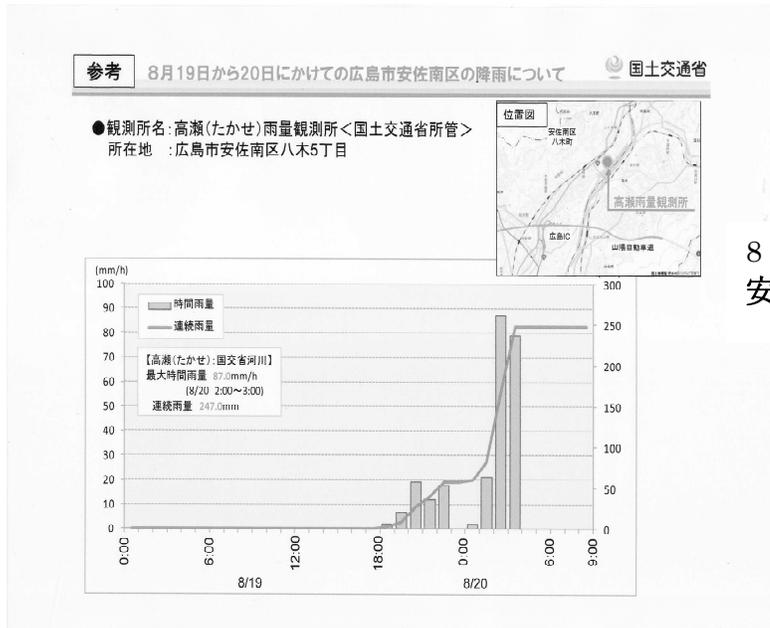
沿岸に近い地域では歴史的に埋立地が多く、地震により液状化の発生による被害想定が公表されている。また大雨や豪雨による背後に花崗岩質のまさ土で出来ている山麓の住宅地域では土砂災害の発生も注意しなければならない。これらの簡易模型を製作展示説明した事は参加者の関心を高めた。

## 5. 写真

### (1) 災害写真及びデータ展示



写真で知る津波の怖さ / 南海トラフ巨大地震/広島市豪雨土砂災害/日本列島の地震



8月19日18時~20日4時  
安佐南区の降雨記録



## (2)非常持出品と防災用具 / 家具転倒防止



非常持出品照明・ラジオ・電話、医療品、衣類、防護衣、食器など非常時必需品



家具転倒防止模型で危険度を理解し易い

## (3)非常食品・飲料の展示



非常食品、飲料の展示説明に展示



女性の参加見学者が多く、関心は高い

#### (4) 土砂災害模型と液状化模型実験



土砂災害模型で土石流発生と被害地区を示す



液状化模型実験シミュレーター(手前)

#### あとがき

8月20日の広島市安佐南区を中心に発生した豪雨土砂災害の被害は県民に大きな意外感と恐怖をもたらした。大規模気象災害はいつ、どこで起こるか知れない自然災害の怖さを改めて認識させた。今後の課題解決への取り組みと被災者生活の復帰と地域機能の復旧・復興の一日も早いことを願う。

また防災訓練の必要な事、備える事の重要性、避難行動の早い事など重井地区の人々は正しく確りと受け止められた事であろう。

我々防災士は今回の災害を重要な教訓として今後の防災、減災の啓発活動や支援活動に活かすことの重要性を実感した。

(広報担当 桑木)